

九州防衛局
平成21年7月発行

福岡市博多区博多駅東
2丁目10-7
福岡第二合同庁舎内



「2009 長崎帆船まつり」(長崎支局)

主な内容

九州防衛局トピックス.....2
 周辺整備事業・建設工事.....3
 ソマリア沖・アデン湾海賊対処.....4・5
 防衛白書刊行.....6
 支局・事務所から.....7
 お知らせ.....8



九州防衛局トピックス

◆「ソマリア沖・アデン湾の海賊対処」の広報用チラシを作成・配付しました (H21.7.4)



当局職員による配付の様子

九州防衛局では、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための自衛隊の活動についてご理解を深めていただくことを目的として「ソマリア沖・アデン湾の海賊対処」の広報用チラシを作成・配付しました。

平成21年7月4日(土)、熊本県立劇場(熊本市)において『平成21年度陸・海・空自衛隊合同コンサート「情熱の響」』が陸上自衛隊中央音楽隊、海上自衛隊東京音楽隊、航空自衛隊航空中央音楽隊などの出演により開催された際、当局職員は同劇場コンサート会場において、「ソマリア沖・アデン湾の海賊対処」の広報用チラシを配布しました。

コンサートにご来場いただいた方々は演奏会のプログラムと広報用チラシを片手に席につかれ、海賊対処のチラシを読む方もみられました。

〈作成・配付したチラシは、4～5ページに掲載。〉

◆九州防衛施設地方審議会が開催されました (H21.7.3)



平成21年7月3日(金)、福岡市内において「平成21年度九州防衛施設地方審議会」が開催され、和智審議会会長他8名の全委員と当局から木坂局長他が出席しました。

今回の地方審議会は、平成19年9月の防衛施設庁廃止後、地方における防衛行政の拠点としての役割を担い新たに発足した「九州防衛局」として初めての審議会開催となったことから、当局の業務・主要事案について次長、長崎、熊本各支局長、総務、企画、調達、管理各部長、防衛補佐官から説明を行いました。

また、午後からは陸上自衛隊福岡駐屯地(福岡県春日市)に会場を移し、人名救助システム・野外手術システム・浄水セット等の装備品を部隊担当者の懇切丁寧な説明を受けながら視察を行いました。

◆別府駐屯地において防衛講話を行いました (H21.6.23)



平成21年6月23日(火)、別府駐屯地(大分県別府市)において開催された大分県防衛協会の総会行事に、当局の木坂局長が講師として参加し、「我が国を取り巻く安全保障環境と在日米軍“抑止力強化と地元負担軽減の両立を目指して”」をテーマに約1時間にわたり防衛講話を行いました。

周辺整備事業

事案名： 佐世保海軍施設等周辺ごみ処理施設設置助成事業

補助事業者： 佐世保市

コメント： 防衛施設から排出するゴミ等を一般から排出されるごみと併せて処理するため、周辺住民の生活環境に支障を生ずるおそれがある場合、地方公共団体が、その障害の緩和に資するため必要な施設を整備するときは、その費用の一部を補助しています。



事案名： 築城飛行場関連再編関連特別事業（環境の保全に関する事業：液肥散布事業）

補助事業者： 築上町

コメント： 町内で発生するし尿・汚泥を肥料化（液肥）し、農地に還元する「資源循環型社会構築」の一環として「液肥散布車」を購入する費用の一部を補助しています。

建設工事

航空自衛隊下甕島分屯基地警戒管制レーダー施設

本施設は、航空自衛隊下甕島分屯基地の警戒管制レーダー施設として、平成21年3月に完成しました。

下甕島分屯基地は、鹿児島県西方海上の甕島列島の南島に位置し、鹿児島県薩摩川内市に所在しています。

地上レーダー施設の老朽化に加え、現今の世界情勢により性能向上が必要であったため、レーダーの性能向上を目的に整備を図ったものです。

熊本防衛支局においては、レーダー部基礎工事や局舎新築工事などを行いました。（レーダー本体は装備施設本部により調達。）

本レーダーの新設により、ミサイル防衛（MD）システムの中で、発射された弾道ミサイルをとらえ追尾するなどの探知性能の向上や即応態勢の確保にもつながります。

現在は試験運用を行っておりますが、今秋をめどに運用をはじめることとなっています。



ソマリア沖・アデン湾の海賊は、 日本にとって大きな問題です。



ソマリア沖・アデン湾は、日本関係船舶の主要航路のひとつです。
昨今、この海域で多発・急増している海賊は、日本のみならず、
国際社会にとって大きな脅威です。



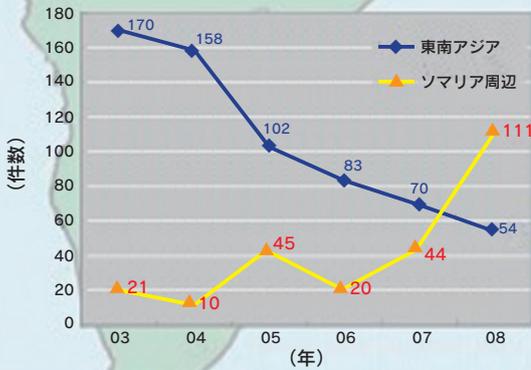
防衛省九州防衛局
<http://www.mod.go.jp>

海賊問題の現状と日本の取組み

アデン湾

日本

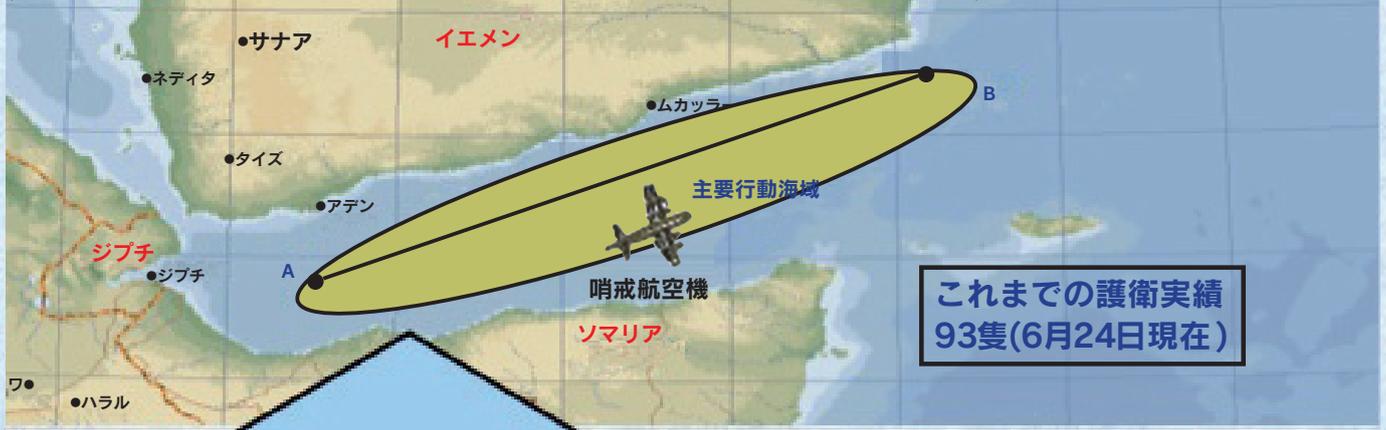
■ソマリア周辺海域における海賊等事案
(出典：国際海事局)



- 日本は、国民の安定的な経済・社会生活の基盤となる各種エネルギー資源や漁業資源等の多くを海外からの輸入に依存しています。同時に、国内で生産された製品の市場を海外に求める貿易立国であり、そのほとんどを海上輸送に依存しています。このような日本にとって、海上交通路の安全確保が妨げられると、経済活動、国民生活に大きな影響を及ぼすことになります。
- 近年、特にソマリア周辺海域において、航行中の貨物船やタンカー等の船舶が、海賊等に襲撃される事件が多発・急増しています。海賊対策は何よりも日本国民の人命及び財産の保護の観点から、急を要する課題です。
- 政府は、2009年3月13日に、「海賊対処法案」について閣議決定を行い法案を国会に提出しました。また、同日、内閣総理大臣の承認を受け、防衛大臣が海上警備行動(自衛隊法第82条)を発令し、翌14日に海上自衛隊護衛艦2隻(「さざなみ」および「さみだれ」)が出港し、3月30日にソマリア沖・アデン湾における護衛活動を開始しました。さらに、5月15日には、P-3C哨戒機2機の派遣命令を発令し、6月11日、任務飛行を開始しました。
- 政府は、①海賊行為の定義 ②海賊行為に関する罪 ③海上保安庁による海賊行為への対処 ④自衛隊による海賊行為への対処 を柱とする法案を国会へ提出し、審議の上、2009年6月19日、法律が成立しました。(6月24日公布、7月24日施行)これにより国連海洋法条約に則して、国籍・船籍を問わず海賊行為を処罰し、海賊行為に適切かつ効果的に対処することが可能となりました。

海賊対処のための自衛隊の活動のイメージ

(あくまで海賊行為の抑止や海賊を退散させることが基本)



これまでの護衛実績
93隻(6月24日現在)



防衛白書

平成 21 年版防衛白書「日本の防衛」を刊行しました。

防衛白書は、わが国防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年刊行しています。

平成 21 年版防衛白書は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処を含む防衛省の海洋政策への取り組みについて、詳しく説明しています。

また、北朝鮮による弾道ミサイル発射への自衛隊の対応、イラクやインド洋における国際平和協力活動の教訓・反省事項、エジプトにある PKO センターへ自衛官を講師として派遣したことなどについて記述しています。

更に、国内外において様々な任務を遂行する隊員等の「顔」が見えるよう、生の声をコラムにおいて多く記述しています。

九州防衛局においても、防衛省の諸施策について理解を得るため、管内の自治体に対して、防衛白書の概要を説明いたします。



"詳しくは防衛省ホームページへ"

<http://www.mod.go.jp>

《九州防衛局ホームページからもリンクしています。》

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

平成 21 年版

日本の防衛

ダイジェスト

第 I 部 わが国を取り巻く安全保障環境

概観

- 第 1 章 国際社会の課題
- 第 2 章 諸外国の国防政策など

第 II 部 わが国の防衛政策の基本と防衛力整備

- 第 1 章 わが国の防衛の基本的考え方など
- 第 2 章 防衛大綱と防衛力整備

第 III 部 わが国の防衛のための諸施策

- 第 1 章 わが国の防衛のための自衛隊の運用と多様な事態への対応
- 第 2 章 日米安全保障体制の強化
- 第 3 章 国際的な安全保障環境の改善
- 第 4 章 国民と防衛省・自衛隊

第 IV 部 防衛省改革

- 第 1 節 防衛省改革会議について
- 第 2 節 防衛省改革の実現に向けての取組
- 第 3 節 その他の取組



訓練中の 90 式戦車



潜水艦「うんりゅう」進水式



飛行中の F-2 戦闘機

◆ 支局・事務所から

『話題を追って』

長崎防衛支局

長崎の街と聞いて一般的に思い浮かぶイメージと言えば、出島、中華街、カステラ、卓袱料理（しっぽく料理）日本、中国、西洋料理が一つの円卓で出会ったようなフルコース料理」といったように、共通するものは異国情緒というイメージではないでしょうか。

今回そんな異国情緒にゆかりある人物と現在行っているイベントについて紹介したいと思います。

長崎と西洋との交流の始まりは、今から四〇〇年以上前、織田信長が最も活躍していた戦国時代末期まで遡ると言われ、鎖国政策を取っていた江戸時代においても、日本と西洋との唯一の窓口であった長崎は、異文化からの影響を強く受けて発展してきたことから、今でも至る所で当時の面影を見ることが出来ます。

そんな長崎の地には、幕末から明治初期にかけて、外国からの知識を吸収しようとする歴史上の有名人が多く訪れ、その足跡を残していますが、特に縁のある一人として、坂本龍馬があげられるのではないのでしょうか。彼の偉業は歴史の教科書でもご存知のとおり長崎の地においても様々な足跡を残しています。

その中の一つに日本で初の商社である亀山社中を設立したことがあげられます。亀山社中は、海援隊と名前を変え、薩長同盟の締結にも尽力。

その海援隊のメンバーなどにより設立された土佐商会には三菱財閥創設者である岩崎弥太郎が在籍するなどその存在は明治の歴史を動かした一つともなっています。

その三菱財閥の流れを汲む三菱重工業（株）長崎造船所においては、現在、海上自衛隊の護衛艦二隻が建造中で、長崎防衛支局の職員がその監督・検査等を実施しております。

話を戻しまして今回なぜ、長崎に縁のある数多くの有名人の中から坂本龍馬を取り上げたかという点、歴史好きの方はもうお気づきかと思いますが、来年の大河ドラマの主人公に坂本龍馬が決定したからです。幕末の有名人の中でも特に人気が高い坂本龍馬が主人公であることや、主役を長崎市出身の超人気俳優福山雅治さんが演じることもあり長崎市民の期待も高まっているようです。

そこで、長崎を舞台とした場面も数多く出てくるのが予想されるこのドラマをより面白く見る方法として、現在長崎で行われている「長崎さるく」（さるくとは長崎弁で「ぶらぶら歩く」と言う意味）というイベントに参加してはどうでしょうか。これは長崎市が平成十八年か

ら毎年行っているイベントで、町の名所をガイドさんの説明を受けながら、また、ガイド本を手にしなが訪れるというものです。今年は特に「長崎さるく幕末編」というこの時代を理解するにはもってこいのコースが設定されています。イベントの期間は十一月末までとなっております。夏休みや九月の大型連休に合わせて旅行先を検討されている方には、この機会に長崎を訪れることを是非お勧めします。そして、来年の大河ドラマを長崎の旅の思い出とともに見るといのは如何でしょうか。



長崎防衛支局 庁舎

★ お知らせ ★

九州防衛局ホームページ・掲載項目 <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



◆トピックス◆

「ソマリア沖・アデン湾の海賊対処」の広報用チラシを配布しました (H21.7.4)

九州防衛施設地方審議会が開催されました (H21.7.3)

別府駐屯地 (大分県別府市) において防衛講話を行いました (H21.6.23)

◆調達関係情報◆

建設工事に関するお知らせ
調達関係情報 (建設工事を除く) について
返還物品等 (鉄屑等) 売却情報について
公募に関する公示
契約に係る情報について
入札関係情報メインメニュー
電子入札関係メインメニュー
談合情報コーナー (電子目安箱)

◆お知らせ◆

住宅防音工事について
防衛問題セミナーのご案内
飛行場周辺の航空機騒音発生状況について
駐留軍等労働者のアスベストに係る健康相談窓口について
損害賠償の手続きのご案内
自衛隊が使用する飛行場等の周辺地域にお住まいのNHK
放送受信契約者の皆様方へのお知らせ
その他

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず当直職員2名を配置しております

【九州防衛局当直室】

電話:(092)483-8832

FAX:(092)472-1959

(平日は17時30分から翌朝08:30まで、休日は終日)
(上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい)



九州防衛局庁舎 (福岡第2合同庁舎内)
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2-10-7
福岡第2合同庁舎4階、5階

“編集後記”

セミの声はすれども、梅雨空の福岡。真夏の日差しが待ち遠しい日々が続きます。理由は一つ汗をかいたあとの喉ごしにしみ渡るあの一瞬のためです。

広報誌編集委員長のもと11名の編集委員が、工夫を凝らした誌面創りをめざします。

ご意見などお聞かせ願えればと思います。

編集委員